進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校 第3号

平成30年7月21日発行

未来から今を考える①

今号より3回にわたり、本校卒業生から、在学中に学んで役立っていること、もっとやっておけばよかったと思っていること等、インタビューした内容を掲載します。将来、なりたい姿から今は何を大事にすればよいのか考える機会となってくれることを期待しています。

今号は、平成29年度に卒業した石岡奈々さんです。日中は能代市にある、「障がい者総合支援センターりぼん」で働き、日常生活は「OHANAの家」というシェアハウスで暮らしています。



1| 学校で学んだことで、役立っていることは? パソコンです。職場の広報作成、フェイスブック、ホームページの更新、工賃の計算等、パソコンを使う仕事は全て私が担当しています。

2 卒業するときに感じたことは?

センターで16年も過ごしてきたので、社会に出るということが怖くてたまらなかったです。先生、友達、医師、 看護師、**たくさんの人に守られている**ことを感じました。

3 学生のうちにやっておくとよいことは?

毎日元気に仕事ができるように、**体力を付ける**ことです。歩行など毎日続けていることが大切だと思います。 たくさんの人と関わり、**コミュニケーション力を高めて おく**のもとても大切です。人は一人では生きていけません。学校での交流活動や休日の外出など、人と関わる機会はとても大切です。その中で、よい関わり方を学んでおく

奈々さんの一日 (月~金)

8:50 送迎車が迎えに来る 朝礼、ラジオ体操

9:25

→ 作業(10分の休憩含む)

12:00

→ 給食

13:00

作業(10分の休憩含む)

15:10

 \downarrow

15:30 退社

送迎車で帰宅

16:00

→ ヘルパーさんと買い物や夕

食準備、入浴等

17:00

テレビ等自由

21:00頃 就寝

4 後輩に一言

といいですね。

自分を知って、自分のことを伝えられることが大切です。また、人との関わりを大切にしてほしいです。人は環境や出会う人によってやりたいことが変わります。やりたいことは、今はできなくてもそこに向けて努力することはできます。自分のやりたいことを見付けて頑張ってほしいです!!

裏面は学部毎に内容が異なります。他学部の記事は、学校のホームページか、玄関前の掲示版で見ることができます。

【各学部掲載記事】

小学部:排せつのステップアップに向けて、入所施設について 中学部:高等部に向けて~自立と身辺処理

高等部:現場実習評価票について

【共通記事】職業フェスティバル、障害者支援センター御所野利用者募集について

小学部版

小学部からの進路

(答えてくれた人:近江美歩進路指導主事)

「**排せつ**」のこと。「やらないといけないな…」と思いつつ、なかなか取り組めません。

事業所に現場実習の依頼をすると、「トイレの介助はどの程度必要ですか」と聞かれることがあります。 支援の手は少なければ少ないほど助かるようです。

例えば、つかまり立ちができる子どもは、車椅子から自力で便座に座れるようになると望ましいです。 また手すりにつかまっている間、誰かにズボンの上げ下ろしをしてもらっている子どもであれば、片手 で手すりにつかまり、片手で上げ下ろしができるようになると望ましいです。

「おしっこが出たら声を出して教えてくれる」「おむつ交換の時、腰を浮かそうとしてくれる」と、そのことを喜んでくれた事業所の方もおりました。便座に座らせてもらえればおしっこが出せるということも大切な力です。

お子さんに応じた次のステップについて担任の先生に相談し、協力してチャレンジしてみませんか。 トイレトレーニングにはよい季節になりました。この夏休み、ステップアップのチャンスですね!

Q:全介助です。成長すると体が大きくなり、家族だけでは難しいと思っています。 在宅でサービスを利用しているケースや入所のケースなど、多様なケースを知りたいです。

A: (前回は在宅でサービスを利用しているケースについてお答えしました。今回は、入所のケースについてお答えします。)入所施設では、入浴、排せつ、食事等の介護、生活等に関する相談や助言のほか、必要な日常生活上の支援が行われます。また、行事や、施設によっては専門職による機能訓練、栄養相談、創作活動、サークル活動等が用意されています。入浴では、機械浴が準備されている施設もあり、安心して入浴できます。施設見学をする際には、浴室やトイレ、洗面所にもご注目ください。なお、手続きについては「進路だより第2号中学部版」に詳しく掲載されています。読んでみたい方は、担任までお知らせください。ホームページからもご覧いただけます。

秋田県障害者技能競技大会・秋田県特別支援学校職業教育 フェスティバルが行われました

秋田県特別支援学校の職業教育のレベルアップと、一般企業への雇用促進を目指し、7月11日(水)秋田市にぎわい交流館 AU(あう)で同時開催されました。

「秋田県障害者技能競技大会」には県内 15 校の特別支援学校の生徒や一般企業から選手が参加し、ビルクリーニングや縫製など 7 部門で、総勢61名の選手が日頃鍛えた技を競いました。本校からは高等部1年生1名がワープロ部門に出場し、ワードを使った30分の課題を2回行いました。結果は銅賞でした。

「秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル」では、作業製品の展示・販売のほか、作業学習の取組を紹介しあう、実践交流会も行われ、会場は熱気に包まれました。

本校からは作業製品とパネル展示のみの参加でしたが、今後、製品の開発と改善を重ね、販売や実践交流会できらり支援学校の取組も紹介していきたいものです。

News



「障害者支援センター御所野(仮称)」から利用者募集のご案内

秋田県身体障害者更生訓練センターは平成31年4月より、秋田市御所野地区に新築・ 移転し、生活介護、施設入所支援、短期入所、日中一時支援の各事業を行うそうです。利 用者募集のお知らせが来ておりますので、興味のある方は、担任までお知らせ下さい。